

別紙 2005/03/19 付 朝日新聞広告「冠動脈ステント治療を受けている方へ」の呼びかけです。この治療を受けた方は10万人以上おられます。



冠動脈ステント治療を受けている方へ。

冠動脈ステント治療を受けている方は、日本で毎年約10万人以上。
心臓のまわりを流る血液は、心臓自身に酸素や栄養を送り届けています。この血液の流れが悪くなると、心臓の働きが低下する状態を虚血性心疾患といいます。今、この病気を治療する方法のひとつとして、大きな効果を出しているのが、冠状動脈形成術(PCI)の「冠動脈ステント」です。細い導管をせずに、細い針の先から細いカテーテルという細い管を挿入し、狭くなった血管をバルーンで押し広げます。そして、カテーテルという細い管の先端にステントを留置することで、血管を広げると同時に血管の再狭窄を防ぎます。この治療を受け、日本で約10万人以上の方が見られています。

この治療を受けた方に、必ず守ってほしい3つの約束。1.お薬を飲む 2.血液検査を受ける 3.具合が悪いと感じたら、すぐに医師に知らせる。それがあなたの命を守ることでもあるのです。

あなたのために、あなたを見守っている人のために、どうぞ3つの約束を守ってください。それがあなたの命を守ることでもあるのです。

日本心血管インターベンション学会 / 日本心血管カテーテル治療学会
ジョンソン・アンド・ジョンソン 株式会社 **Cardis**

呼びかけは、日本心血管インターベンション学会、日本心血管カテーテル治療学会、ジョンソン・アンド・ジョンソン（株）です。

呼びかけ文は、「あなたのために。あなたを見守っている人のために。どうぞ3つの約束を守ってください。それがあなたの命を守ることでもあるのですから。」となっていて、3つの約束について説明されています。

(1)お薬を飲む (2)血液検査を受ける (3)具合が悪いと感じたら、すぐに医師に知らせる、となっていて、それぞれの内容について解説されています。